

強い農業・担い手づくり総合支援交付金成果目標の達成状況等について
(令和元年度当初予算分)

令和元年度に事業を実施した4地区（継続評価地区※）の成果目標に係る令和5年度の達成状況は以下のとおりです。

(単位:経営体、%)

成果目標項目		目標年度 (令和3年度)	令和5年度の 目標達成状況 (上段:計画、下段:実績)	達成率 (%)
目 必 標 須	① 付加価値額の拡大	6	6 2	33%
	② 経営面積の拡大	6	6 3	50%
選 択 目 標	③ 農産物の価値向上			
	④ 単位面積当たり収量の増加			
	⑤ 経営コストの縮減			
	⑥ 農業経営の複合化			
	⑦ 農業経営の法人化			

◆達成状況に関する本県の対応

継続評価地区の5年度目において、事業を実施した3地区が目標未達成となった。
 目標未達成の要因は、①付加価値額の拡大については、天候不順により収量が低下したこと、世界情勢の影響により肥料等の資材費が高騰したこと、②経営面積の拡大については、主たる従事者の傷病や地域農業者との調整である。
 目標達成に向け、①付加価値額の拡大については、JA等の関係機関から肥料費等の経費の削減や収量向上に向けた指導を受ける。②経営面積の拡大については、農地中間管理機構の活用や農業委員・JA等から積極的に情報収集を行う。
 県としても、早期に目標を達成し、事業効果が発現できるよう、適宜、進捗状況を確認していく。

※目標年度(令和3年度)に未達成となり、目標年度経過後も継続して事業評価を実施する地区。